

世界的な機械発明家

御法川 直三郎

みのりかわ なおさぶろう

出身地 秋田市

1856年（安政3年）～1930年（昭和5年）

農商務省蚕病試験場に学ぶ。製糸器械等の改良を志し、生涯に取得した発明特許は150を超え、直線式多糸繰糸機は、片倉製糸紡績に採用導入され、製品はミノリカワ・シルクの名でアメリカ市場で世界的声価を獲得した。



年譜

- 1856年 秋田市に生まれる。
- 1888年 熱殺菌機を発明。翌年、座繰機を発明。
- 1895年 御法川工場を建設し、各種発明製造に従事。
- 1908年 御法川二九式燃焼機の特許を得る。
- 1922年 平和大博覧会に直線式多糸繰糸機を出品、金牌授与。片倉製糸紡績が採用し、大発展。
- 1923年 緩速度多糸式繰糸機を発明、フィラデルフィア万国絹業博覧会に出品実演、名誉大賞を受賞。ミノリカワ・シルク、世界的名声を獲得。
- 1930年 東京都で没。74歳。